

二五四二番

若草わかぐさの 新手枕にひたまくらを まきそめて 夜よをや隔へだてむ  
憎にくくあらずに

二五四三番

我が恋こひし ことも語かたらひ 慰なぐさめむ 君きみが使つかひ  
を 待まちやかねてむ

二五四四番

現うつには 逢あふよしもなし 夢いめにだに 間まなく見みえ  
君きみ 恋こひに死しぬべし

二五四五番

誰たそ彼かれと 問とはば答こたへむ すべをなみ 君きみが使つかひ  
を 帰かへしつるかも